

## <福岡県の環境について>

### 【調査の目的】

福岡県の環境のマスタープランである「福岡県環境総合ビジョン(第五次福岡県環境総合基本計画)」(※)では、県民の皆さんと一緒に目指す5年後の姿を「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県～環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ～」と設定し、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の数値指標を設定しています。

これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターの皆さんの御意見をお聴かせください。

### 【活用状況】

環境総合ビジョンの進捗管理の一環として、環境へのニーズや満足度等を把握し、環境施策へ活用します。

(環境部 環境政策課)

### ※ 福岡県環境総合ビジョンとは

福岡県の環境行政の基本的な方向性を示すとともに、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指して、県民、事業者、行政など、全ての主体が環境について考え行動する際の指針となるものです。

詳しくは、下記を御覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-vision.html>

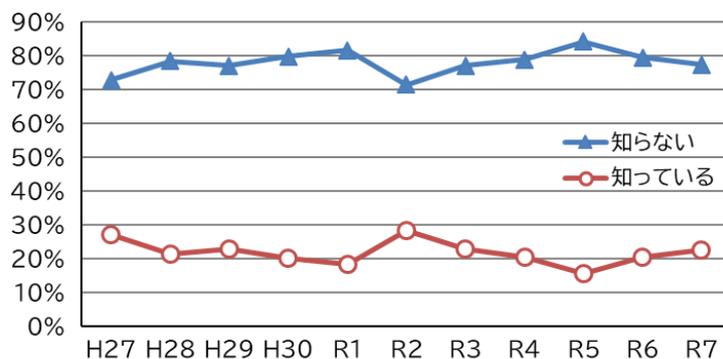
<1> 毎年6月は環境について考える環境月間であり、県でも街頭キャンペーンなどを行っています。6月が環境月間であることを知っていますか。

(n=372 選択は1つのみ)

知らない	288名	77.4%
知っている	84名	22.6%

無回答 0% (0名)

### 環境月間の認知度



<2> あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

(n=372 複数回答可 回答件数=1,505)

ごみが正しく管理・処理されていること	186	50.0%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	179	48.1%
水が汚染されていないこと	137	36.8%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	121	32.5%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	114	30.6%
空気や空が汚染されていないこと	107	28.8%
住まいの周りの静かさ	92	24.7%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	84	22.6%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	81	21.8%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	63	16.9%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	60	16.1%
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	60	16.1%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	55	14.8%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	55	14.8%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	51	13.7%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	31	8.3%
環境について満足しているところはない	25	6.7%
その他	4	1.1%

無回答 0名 0.0%

〔その他〕

- ・ スーパー等でリサイクル品が集められているのをよく目にする。

<3> あなたが普段生活している身の回りの環境について、この10年間で良くなったと感じるのはどのようなところですか。

(n=372 複数回答可 回答件数=1,243)

太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	141	37.9%
ごみが正しく管理・処理されていること	131	35.2%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	110	29.6%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	102	27.4%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	79	21.2%
水が汚染されていないこと	75	20.2%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	71	19.1%
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	68	18.3%
空気や空が汚染されていないこと	65	17.5%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	61	16.4%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	57	15.3%
10年前とは違う地域に住んでいるので分からない	43	11.6%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	42	11.3%
住まいの周りの静かさ	42	11.3%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	42	11.3%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	41	11.0%
環境についてよくなったと感じるところはない	41	11.0%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	27	7.3%
その他	5	1.3%

無回答 0名 0.0%

〔その他〕

- ・ 夏、冬、にエコチャレンジ等の車内広告を見かけるようになりました、先着等の言葉があると知らないでも頑張っている人達が居ることを知ります。

<4> あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満足と感じるのはどのようなところですか。

(n=372 選択は4つまで 回答件数=801)

モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	109	29.3%
空気や空が汚染されていること	89	23.9%
ごみが正しく管理・処理されていないこと	83	22.3%
住まいの周りの静かさが保たれていないこと	57	15.3%
省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	56	15.1%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	56	15.1%
水が汚染されていること	50	13.4%
環境について、不安や不満足と感ずるところはない	45	12.1%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	38	10.2%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと	36	9.7%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	35	9.4%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと	34	9.1%
日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	28	7.5%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと	20	5.4%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと	18	4.8%
環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと	18	4.8%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと	8	2.2%
その他	21	5.6%

無回答 0.0% (0名)

〔その他〕

- ・ ペットのフンをきちんと持ち帰りをしない飼い主やポイ捨てされている空き缶を見かける。農作業で使用したマルチの切れ端などのプラスチックごみの放置。川にごみを捨てる人がいて、野鳥(烏・ゴイサギ)に生ごみを与える。家の解体した木材などを大量に焼却しているのを見かけることがあるが、家の近くまで灰が飛んでくることがあり、火災にならないか、不安である。
- ・ 日本は世界的に見て色々取り組んでいると思いますし、色々と目標も掲げられています。更にがんばろうとしていますが、かえってお金がかかったり、それに縛られ過ぎている気もします。ほどほどが良いと思います。
- ・ 太陽光というのは古くなったパネルの処分やパネル製造時の環境負荷などについて、トータルで評価されたものとは感じていない。言うほど経済的でもないし、単純に新たな権益の誕生なのではとさえ感じている程度。
- ・ 太陽光パネルによる山林伐採や景観悪化、災害リスクが不安です。放置パネルや廃棄処理も

課題です。電気自動車のバッテリー寿命や電力負荷、道路劣化も気になります。再エネや電化の推進が本当に地域の安心につながっているのか疑問です。

- ・ 不満がないとはいえないがチェックがつけにくいです。それぞれの取り組みについて知らないことが多いため。
- ・ 現代社会では「消費者」として安価なものを選ぶ(あるいは、そのような消費者に選ばれるモノやサービスを生産する)ところに過剰に光が当たりすぎており、自分の消費行動を通して自らの関心(生産工程へのこだわりや社会課題へのアプローチなど)と重なる企業や事業者への投資をするような意識が薄れているような気がします。そのような意思を持った行動としての投資者倫理を育むアプローチがあってもよいのではと感じています。
- ・ 太陽光設備の廃棄問題が懸念です。再生可能エネルギーも廃棄・撤去となった際に今までの収支が逆転し、環境負荷が高いものになってしまうことに対して対策が必要だと思えます。
- ・ 太陽光や風力発電等はよく耳にするし見たりもします。空気や空の汚染もニュースで知ることができそうですが、残念ながらその他については実際のところ、どこでどの様にされているのかわかりません。回覧板など回ってきますが、実際どうなの?と思えます。夏休みになると市政だよりや広報誌に参加型の環境の何やらがよく募集されているのをみますが子供向き。
- ・ 原発が稼働していることは災害時、または有事におけるリスクと思う。PFAS 問題も、井戸を使用している家庭が多い場所なのでとても心配。
- ・ 全てに満足しているわけではないため<その他>を選びました。再生可能エネルギーの活用量が不明確な上、太陽光発電の設置のために山が削られ、環境や動物に悪影響を及ぼしており、本来の目的と逆行しているように感じます。
- ・ SDGs と言いつつも、それが環境保全に逆行しているところがチラホラあること。
- ・ 過度に太陽光発電所が建設され、森林破壊を生んでいる。
- ・ 太陽光パネルがあちこちに出来て、自然が破壊されていると感じる。環境に良いはずの太陽光がと思う。あのたくさんの太陽光パネルの仕組みを教えてください。
- ・ 或るご近所の方のゴミが毎回猫やカラスに荒らされて、それをゴミ収集車の方が片付けしてくださいなのが、申し訳ないです。
- ・ 大規模ソーラーパネルの設置による森林の伐採や山の切り崩しによる災害発生の危険性が高まっていること。
- ・ ゴミの分類が自治体に依って異なっていること。焼却場などの理由もあるとは思いますがルール統一が分別を間違えない。リチウムイオンについては発火の不安があるためもっと積極的に処分方法などを PR してもらいたい。
- ・ 飲食店等、家庭ゴミ以外はプラも燃えるゴミも一緒になって出されているから、そこもゴミの仕分けをしないと意味がないと思う。
- ・ 路上等にゴミを捨てる人が多いこと。

## <5> 福岡県の環境について、これまでの設問以外の意見(抜粋)

### <①経済・社会のグリーン化>

- ・ 技術の発展に伴って環境関連の技術も昔に比べてずいぶん進歩したと思います。応援したいと思います。具体的な福岡発の会社や技術内容などもっと知りたいです。

### <②持続可能な社会のための地域づくり・人づくり>

- ・ ゴミの不法投棄やポイ捨てがなくなる。個人の考え方を变えるのは簡単ではないし、古い考えの人がまだまだ居る現状。せめてこれからの時代を生きていく若い世代には教育現場でもしっかり根付かせてほしい。

- ・ 環境に関する認識や取組みが自分に不足している。誰でも積極的に参加するための場面づくりを強化していただきたい。県民参加型イベント等。
- ・ 自然を大切にすることが命を育み、自分も大切に守られることにつながることを市民が意識できるような教育を望みます。
- ・ 大学における環境講座との連携について。
- ・ 男女ともに働くのが当たり前の社会になり、子育てと仕事中心にやってきた。どれだけのサラリーマンが県の環境整備や取組みについて知っているのか、はなはだ疑問。働き方改革とはいえ男女ともに残業もあるため、県の環境の取組みについて知り得る時間が圧倒的に少ない。関心の向上のためには、県政についての企業内研修なども実施するとより身近なものに感じられるようになると思う。
- ・ 野焼きが多く、ただでさえ福岡県は PM2.5 が多く空気が良くないのに、条例はどうなっているんだと思う。乾燥した時期は山火事にでもなりそうな勢いである。歩きタバコものすごく多い。毎朝たばこの煙を浴びる。吸い殻は排水溝へ捨てているようだ。そのまま川へ流れている場所もある。大人の住民全てへの啓蒙、教育が早急に必要である。個人的に定期的に町内清掃を行っている。街をきれいにしたい。

### <③脱炭素社会>

- ・ 水素の活用が北九州にとどまっていることは、とても残念。様々な課題があると思うが、福岡の地の利を活かした自然エネルギーを活用した水素の製造はできないのか。そして、それを蓄えて活用する仕組みまたは、原発に依存しない自然エネルギーの蓄電方法の開発(固形電池を含む)。東北の原発事故の復旧にどれほどの税金が投入されているかを考えると、総合的なコストは圧倒的に自然エネルギー由来のものに部があると思う。これからは、いかにエネルギーを貯めて安定供給できるかが、環境問題にも影響するものと思う。
- ・ 各家庭・工場・商店の屋上太陽光を推進してほしい。エアコンからの排熱を活用する取り組みなど、これまで無駄にされているエネルギーを活用できないのか。九州・福岡は再エネ出力も高く、また九州大学には国内最先端の水素研究センターがあるので、もっと脱炭素化を推進し、他県と差別化できる余地があると感じる。再エネ出力や研究機関をどの様に利用するか、海外の再エネ先進都市などへの訪問や提携などで知見を深めるべきだと思う。
- ・ 個人的には原子力発電が最もクリーンで効率の良い発電方法だと思っているので、現在の再生可能エネルギーの流れは疑問が残ります。原発の問題は、災害時でも安全に稼働できるかであり、そこを解決することを福岡県ができれば全国の電力不足は解消されると思います。電力は産業の要であるため、福岡のような工業地帯からまずは再開すべきです。
- ・ 太陽光に恵まれた土地でありながら、原発が稼働しているのは残念。再生可能エネルギーにもっと力を入れるべきだし、また福岡はその力があると思う。また、県内の井戸を維持していくべきだと、能登半島地震の際に強く感じた。災害、有事の際に絶対に有用だし、また自然保護にもつながると思う。
- ・ 太陽光や風力が環境に良いことだとは思えません。
- ・ 電力会社と協力して太陽光や風力などの再生可能エネルギーをもっともっと活用してほしいと思います。
- ・ 無駄に太陽光パネルの設置面積が多く、害獣の民間への接近、環境破壊に寄与している事を無視している。パネルの生産に於いて環境破壊がある事を知らしめていない。太陽光パネル信者が多い。ビルの屋上に設置すべき。
- ・ 洋上風力のさらなる促進が必要と感じる。
- ・ 最近の暑さの中、節電や温暖化防止のためにエアコンの設定温度を 26℃に設定しているが正直暑すぎる。暑い環境では職員 1 人当たりのパフォーマンスが低下し、全体のパーフォー

マンスも低下してしまう。特に医療職では医療事故における原因の中に職場環境、医療事故当時の体調や精神状態の異常などもある。患者の死へと直結するような事は避けるべきだと思う。

- ・ 太陽光発電が進んでいるが、山を切り開いたり、豊かな自然が壊されて、メガソーラーが作られたりする場面をよく見る。これでは本末転倒で何のためにエネルギー転換をしているのか分からない。環境破壊につながるような開発については、条例等を定めて規制することが必要だと思う。
- ・ 私達の税金から森林税がとられていることを、緑の青年団の活動を通して知りました。何気なく、税金に含めるのでなく、森林税が取られていることを知らしめてほしい。そうすると、少しは森林を大切にしたりする気持ちが湧いてくるかもしれません。
- ・ 持続可能な社会の実現と環境保護は重要ですが、その推進方法には注意が必要だと考えます。例えば、太陽光や風力といった再生可能エネルギーの導入において、太陽光発電施設の設置のために広範囲の森林が伐採される事例は、まさにその典型だと思います。これでは、環境を守るための取り組みが、かえって生態系を破壊するという本末転倒な結果を招きかねません。真に持続可能な社会を目指すには、その過程で新たな環境負荷を生み出さないよう、慎重な計画と実行が求められると思います。

#### <④循環型社会>

- ・ ゴミの分別があまり進んでいないと感じます。
- ・ ゴミの分別はもう少し細かくしたほうが良いと思う。
- ・ リチウムイオン原因のごみ処理場発火事件が、県内のみならず多発しており早急な法整備やゴミ分別などの取り組みが急務だと思います。
- ・ フードロスがとても勿体なく感じます。どうにかして、余ったものを生かせないものか。
- ・ 福岡県は、外食産業が盛んなため、食品ロスが多すぎる。食品ロスについて、真剣に取り組んでほしい。
- ・ 県としては、特に気になるのは産業廃棄物問題ではないかと思っています。北九州市、福岡市を筆頭に多くの産業があり、不法投棄や野焼き問題も一時期深刻化していたと聞いたことがあります。その辺の状況が知れたらいいなと思います。
- ・ ゴミ不法投棄について対策が不十分と感じる。
- ・ 学校や地域の市民センターで不用品を回収できるようにされたら良いと思う。学校で取り組みされると子供たちのモチベーションも変わってくると思う。今、物を大事にする心がなくなっている気がする。物を大事にする心がエコに環境につながると思うので、使い捨ての当たり前前の気持ちを変えるように、行政がPRしていくことは絶対に広げてほしい。
- ・ 最近、リサイクルに持っていくとポイントをもらえる所が増えてきたが、そういうゲーム感覚でお得感があれば、みんな楽しんでリサイクル活動するだろうし、就活や進学の際に環境に優しい事したらポイント高くなるなど価値を付けたりする。
- ・ 地域によってはまだまだリサイクル事業にばらつきがあるので、県内で統一されてより取り組みが活発になれば良いと思います。

#### <⑤自然共生社会>

- ・ ホタルの生息が昔より減ったような気がする。自然環境に変化があるのかと感じる。
- ・ 住んでいて周りの環境が悪化という程でもないが、幼い頃に見ていた自然の動物や虫、植物が減少しているのを肌で感じている。県や地域の条例をもっと厳しくして環境保全できることがまだあるのではないかと思う。

<⑥健康で快適に暮らせる生活環境>

- ・ 水道水に関心があり浄水器を使用中。安全な飲料水を提供してほしい。
- ・ 全ての店舗や企業をチェックする事は難しいですが、各企業等の排気や排水問題を厳しく取り締まるようにしてほしいと思います。
- ・ 大牟田市在住ですが、近年、有明海側に工場群が建ち並び、水蒸気か煙か分からないけれど、モクモクしています。市の広報誌で、あの煙の正体を説明いただく欄があれば地域の方々も安心されると思います。市が発展することはよいことだと思っています。
- ・ 特にはありませんが、水質については大変不安に感じています。水道管破裂などの全国ニュースを観るたびに、自宅近辺のインフラは大丈夫なのかと危惧しています。

<⑦国際環境協力>

- ・ PM2.5 や黄砂などの対策が重要と思いますが、中国が相手ではなかなか対応が難しいと感じます。
- ・ 特に福岡県は大陸から、黄砂など、大気汚染が時期的にひどい。県や国ではどうにもならない問題もあり大変だと思う。室内では空気清浄機もありだと思う。
- ・ 難しいんですが、黄砂やPM2.5のいい対策があれば知りたい。
- ・ 福岡県だけで解決する問題ではないと思いますが、福岡は東日本に比べて空気が悪いです。大陸からの大気汚染物質が一因だと思います。
- ・ 福岡県は関係ないが、毎年中国からの黄砂が飛来するのが非常に辛い。空気も悪くなるが、花粉症なども悪化する。どうしようもないのは分かるが、意見として黄砂問題も考えてほしい。

<⑧その他>

- ・ ワンヘルスについて、わかりやすく県民に説明してほしい。
- ・ 海や山など身近な自然がいつまでもきれいであればいいなと思います。
- ・ 環境問題の改善にはひとり一人の意識や取り組みが必要とあらためて感じます。
- ・ 企業の環境取り組みも当然必要ですが、個人としても散らかさない、ゴミ収集ルールを守る、自宅周辺の清掃等、各自の自覚が必要と思っています
- ・ 県が環境問題にどんな取り組みをしているかはほとんど知らない。
- ・ 県民全員の意識が変わらないと改善は見込めないと思う。もっと将来的な危機を訴えかけて、なんとかしなければと思わせないといけないと思う。
- ・ 私自身は街中に住んでいますが、車で少し行けば豊かな自然があり、とても満足しています。
- ・ 福岡県は自然豊かな素晴らしい所なので、みんなで意識して守っていききたい。
- ・ 都市と自然が近い福岡県だからこそ、もっと「身近な自然」を守る取り組みが必要だと思います。公園や川沿いの清掃、緑地の保全など、地域ぐるみで自然とふれあえる場を守る仕組みがあるといいです。子どもや若い世代が自然に親しめるイベントや体験活動ももっと増やしてほしいです。ポイ捨てやごみ問題への対策を強化してほしいです。特に観光地や繁華街、海沿いのエリアではごみの放置が目立つこともあります。ごみ箱の設置や啓発ポスターの工夫、地域ボランティアとの連携など、見た目のきれいさと意識の両面からの取り組みを期待しています。再生可能エネルギーやエコな取り組みをもっと見える形で広げてほしいです。太陽光や風力などの地産エネルギーの導入状況や、公共施設での省エネの取り組みなどを、県民にもわかりやすく発信してくれると関心が高まると思います。地元企業や学校と連携した環境活動なども応援したいです。
- ・ PM2.5 などによる大気汚染が進行している。大型ショッピングセンターなどが増えて、広い緑地が減少している。博多湾や河川の水質汚染が進んでいると感じる。福岡市と周辺都

市では、人口の増加、田畑など緑地が減少し、ヒートアイランド現象による温暖化が進行し、その影響は市外に及んでいると推定される。ヒートアイランド現象による高温化は10数年の気温変化を福岡市と近郊(飯塚市など)と比べると(気象庁のデータから)よく分かる。温暖化は、環境悪化、野菜などの生育不良など、今後、深刻な問題となりそうである。

- ・ 福岡県環境総合ビジョンを読むといい取り組みのように見えるが、ECO 関連は利権がからんでいることが多い。そこをオープンに、クリーンにしてもらいたい。

## <6> 満足・不満足に関する回答の経年変化<sup>注)</sup>

### <①経済・社会のグリーン化>

「産業での環境に配慮した取組」「環境関連技術・産業」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

### <②持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり>

「環境配慮行動」「地域づくり」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

### <③脱炭素社会への移行>

「再生可能エネルギーの活用」に対する満足度は昨年度から増加しました。「省エネルギーの取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

### <④循環型社会の推進>

「ごみの管理・処理」に対する満足度は比較的高く推移しています。「資源の有効利用」「リサイクル」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

### <⑤自然共生社会の推進>

「身近な自然との触れ合い」に対する満足度は、比較的高く推移しています。「豊かな自然の恵みを活かす社会経済活動」「希少種や里山を守る取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

### <⑥健康で快適に暮らせる生活環境の形成>

「水の汚染」「空気の汚れ」「住まいの周りの静かさ」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

一方、満足していないと感じる割合については、「<循環型社会の推進>モノや資源が大切に使われていないこと」では他の項目に比べ比較的高く推移しています。

また、<経済・社会のグリーン化>「家庭や会社での環境配慮型製品の選択」は近年減少傾向にあります。

これらの項目については、今後の環境に関する取組の進め方に活かし、県民への情報提供や普及啓発に取り組んでいく必要があります。

(注)登録していただいているモニターは毎年度変わっています。

項目	満足していること	満足していないこと
① 経済・社会のグリーン化	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること                      家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること                      環境関連の技術や産業が向上・発展していること                 </p>	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと                      家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと                      環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと                 </p>
② 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること                      地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること                 </p>	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと                      地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと                 </p>
③ 脱炭素社会への移行	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること                      太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること                 </p>	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること                      太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと                 </p>
④ 循環型社会の推進	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと                      環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること                      ごみが正しく管理・処理されていること                 </p>	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること                      環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと                      ごみが正しく管理・処理されていないこと                 </p>
⑤ 自然共生社会の推進	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること                      希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること                      身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること                 </p>	<p>                     60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%                 </p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>                     豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること                      希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと                      身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと                 </p>

⑥健康で快適に暮らせる生活環境の形成

